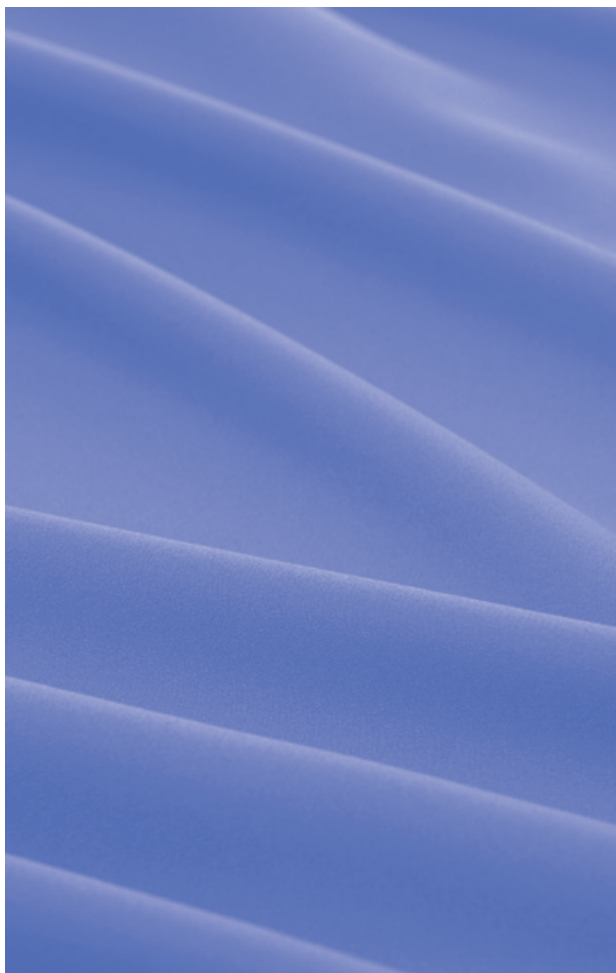


株主通信

(第78期中間報告)

2026年3月1日から2026年8月31日まで



TAKAQ

(証券コード：8166)

株主の皆さまへ

株主の皆さまにおかれましては、平素より格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、当社は2026年8月31日をもって第78期中間期（2026年3月1日から2026年8月31日まで）を終了いたしましたので、事業の概況につきましてご報告申し上げます。何卒ご高覧賜りますようお願い申し上げます。



代表取締役社長

伊藤 健治

事業の概況

当中間会計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善や賃上げの定着に伴い、個人消費や設備投資を中心に緩やかな回復基調で推移いたしました。一方で、為替相場の変動や国際情勢の不安定化に伴うエネルギー・原材料コストの高止まり、継続的な物価上昇により、消費者の選別志向や生活防衛意識は依然として高く、先行きについては不透明な状況が継続しております。

当アパレル・ファッション業界におきましては、定着する猛暑・酷暑傾向に伴い、盛夏衣料を中心に一定の需要がみられたものの、仕入原価や物流コストの上昇に伴う商品価格への転嫁と価格競争の激化、さらにはインバウンド消費の質的变化（購買行動の厳選化等）の影響を受け、経営環境は引続き厳しい状況が続きました。このような環境の下、当社は商品価値の向上と収益性を重視した販売への転換を進めました。

このような中、当社は事業再生計画を完遂することにより、事業の再建によるタカキューの収益構造の改善を進め、ステークホルダーの皆さまの期待に応えるよう、企業価値の向上に誠心誠意努めてまいります。

商品面では、「商品価値の強化」と「粗利益の確実な確保」の両立を目指し、オフィスカジュアルの拡充、ドレスシャツ及びオーダースーツの刷新ならびに利益確保に向けた最適な価格設定を重点的に推進いたしました。特に、ビジネススタイルの多様化に伴うニーズの変化に対応し、「着用パフォーマンス」をテーマに掲げたセットアップを軸とする組み合わせ提案の強化に注力いたしました。その結果、アイテム別では、重点施策である「セットアップスタイル」が全体の業績を下支えし、素材や機能性にこだわったジャケット及びスラックスの組み合わせ提案が全社平均を上回る支持を得たほか、バッグをはじめとするビジネス洋品・小物も堅調に推移いた

しました。これらの成果を、下期の商品構成と売場づくりに反映してまいります。一方で、物価高騰に伴う生活コストの増加により消費マインドの低迷が継続し、衣料品に対する買い控え傾向がみられたことに加え、天候不順等の影響も重なり客数が減少したことで、半袖ドレスシャツやカットソー等の盛夏商品が低調に推移いたしました。8月商戦に向けては、売れ筋商品の追加投入、秋冬商品の前倒し展開ならびにオーダースーツの販促強化を実施したものの、客数減少を補うには至らず、Eコマースにおける展開商品の縮小など事業規模見直しの影響もあり、当中間会計期間の既存店（リアル店舗）売上高前年同期比は5.9%減、EC売上高前年同期比は48.3%減、トータル既存店売上高前年同期比は、10.4%減となりました。今後は売れ筋商品の確保と適正な店舗配分を進め、販売機会の回復を図ります。

営業面では、顧客満足度の向上を図るべく、店舗代表スタッフ及びエリアマネージャーで構成される「VMD・サービス向上委員会」の活動を強化いたしました。社内ツールを活用した成功事例の共有及び水平展開を推進したほか、月次推奨商品の設定、商品知識やコーディネートに関する教育動画の継続配信ならびに業績優秀スタッフに対するインセンティブ制度の活用によるモチベーション向上等に取り組み、接客力及びサービス品質の全体的な底上げを図りました。今後は提案販売の実践状況と成果を確認し、好事例の定着を進めます。

販売促進面では、顧客満足度向上施策の一環として、会員向けフェアを3月、4月及び6月に実施いたしました。また、オケージョン需要に対応した「ハレの日」提案や、夏のオフィスカジュアルを提案する「COOLフェス」など、季節催事と連動した各種販促施策を重点的に実施し、来店客数の増加に努めました。今後は各施策の売上と粗利益への寄与を検証し、効果の高い施策に重点を置いてまいります。

Eコマースでは、収益構造の抜本的改革による営業利益率の向上及び営業利益額の確保を目指し、構造改革を推進いたしました。具体的には、不採算ECサイトの休止、セール販売期間の見直し、適切な在庫管理の徹底に加え、販促値引きの抑制等を実施し、利益率及び収益性の改善に注力いたしました。店舗とEコマースの在庫・販売機会を有効に活用し、収益性の改善を進めてまいります。

店舗面では、T/Qを1店舗出店し、タカキュー1店舗を退店した結果、店舗数は当中間会計期間末で前年同期同数の113店舗となりました。

以上の結果、当中間会計期間の売上高は38億5千1百万円（前年同期比10.0%減）となりました。利益面では、コストコントロールの徹底により、販売費及び一般管理費が前年同期比0.7%減少したものの、営業損失は2億3千9百万円（前年同期は営業利益3百万円）、経常損失は2億1百万円（前年同期は経常利益6千4百万円）、中間純損失は2億8千3百万円（前年同期は中間純利益1百万円）となりました。減収による利益への影響を重く受け止め、下期は売れ筋商品の確保、値引きの抑制、在庫回転の改善を徹底し、売上と粗利益の回復に取り組んでまいります。

当社といたしましては、現在進捗中の「事業再生計画」を着実に実行することで、財務基盤の早期安定化、安定的な収益力の構築を図り、普通株式の株主の皆さまに復配できるよう努めてまいります。

今後とも一層のご理解とご支援を賜りますよう心からお願い申し上げます。

NEW SHOP

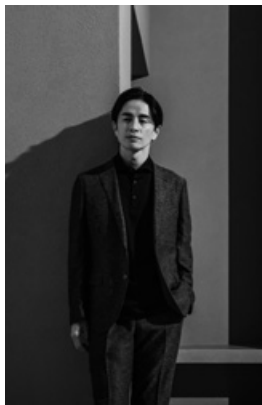
T/Q



イオンセントラルスクエア静岡店 静岡県静岡市 2026年3月オープン

COLLECTION

T/Q men's



T/Q ladies'



「静謐な美しさが宿る、洗練された佇まい。余計なものを削ぎ落とし、細部まで計算されたシルエットが、気品と清潔感を纏わせる。控えめでありながら、凛とした存在感を放つ装い。その静かな輝きが、日常をより美しく彩る。」



「対照的な魅力が交差し、それぞれの強みを生かしながら生まれる、新しいかたち。
異なるものが引き寄せ合い、重なり合うことで、洗練された美しさが生まれる。
そこには、絶妙なバランスと、今までにない輝きが宿る。」

SUITIST
READY TO WEAR



SUITIST
ORDER MADE SUIT



「Simplicity & Quality - シンプルでいて上質を追求し、スーツをただの仕事着ではなく、装う喜びを知る大人のためのファッションへと昇華させる。」

「妥協なき技術と洗練された美意識、日本の名匠が、あなただけの一着を創り上げます。」

GRAND-BACK
BIG & TALL®



DRAW



「自分らしくスタイリッシュに、サイズにとらわれず、ファッションをもっと楽しみたい。
ただ着られる服ではなく、本当に着たい服をもっと自由に、自分らしいスタイルを楽しむ大人へ。」

「Discover. Reflect. Articulate. Wear. Draw Your Story.
発見し、映し出し、表現し、纏う
あなたの物語を描こう」

貸借対照表(要旨)

(単位：千円)

<div>期 別</div> <div>科 目</div>	前中間会計期間 (2025年8月31日現在)	当中間会計期間 (2026年8月31日現在)
(資産の部)		
流動資産	3,105,191	3,454,999
固定資産	2,487,756	1,747,641
有形固定資産	131,554	178,868
無形固定資産	268,556	343,115
投資その他の資産	2,087,646	1,225,657
資産合計	5,592,948	5,202,641
(負債の部)		
流動負債	1,320,849	955,060
固定負債	2,959,927	2,439,197
負債合計	4,280,776	3,394,257
(純資産の部)		
株主資本	778,186	1,803,609
資本金	131,220	100,000
資本剰余金	31,220	270,053
利益剰余金	642,273	1,460,104
自己株式	△ 26,527	△ 26,547
評価・換算差額等	525,088	—
その他有価証券評価差額金	525,088	—
新株予約権	8,896	4,773
純資産合計	1,312,171	1,808,383
負債純資産合計	5,592,948	5,202,641

損益計算書(要旨)

(単位：千円)

科 目	期 別	前中間会計期間 (2025年3月1日から 2025年8月31日まで)	当中間会計期間 (2026年3月1日から 2026年8月31日まで)
売上高		4,278,199	3,851,269
売上原価		1,609,846	1,444,499
売上総利益		2,668,352	2,406,770
販売費及び一般管理費		2,665,195	2,646,334
営業利益又は営業損失(△)		3,157	△ 239,563
営業外収益		193,428	191,581
営業外費用		132,192	153,226
経常利益又は経常損失(△)		64,393	△ 201,208
特別損失		2,695	25,447
税引前中間純利益又は税引前中間純損失(△)		61,698	△ 226,655
法人税、住民税及び事業税		35,634	35,634
法人税等調整額		24,122	20,987
中間純利益又は中間純損失(△)		1,941	△ 283,277

キャッシュ・フロー計算書(要旨)

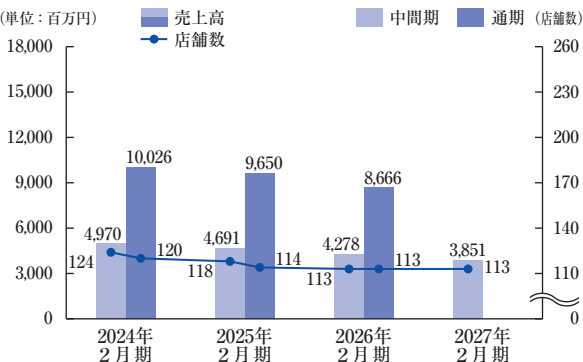
(単位：千円)

科 目	期 別	前中間会計期間 (2025年3月1日から 2025年8月31日まで)	当中間会計期間 (2026年3月1日から 2026年8月31日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー		△ 225,277	△ 497,148
投資活動によるキャッシュ・フロー		△ 72,758	△ 160,884
財務活動によるキャッシュ・フロー		22,978	75,596
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)		△ 275,057	△ 582,435
現金及び現金同等物の期首残高		1,378,442	2,039,848
現金及び現金同等物の中間期末残高		1,103,384	1,457,412

財務ハイライト

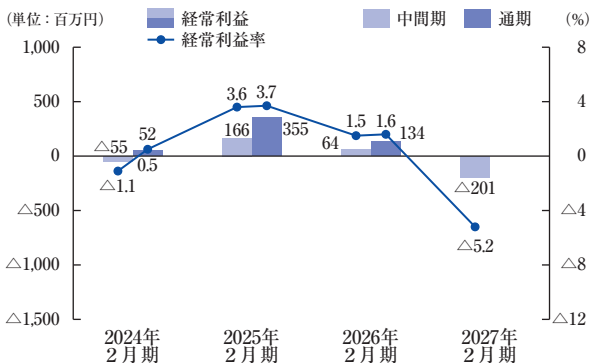
売上高・店舗数

(単位：百万円)



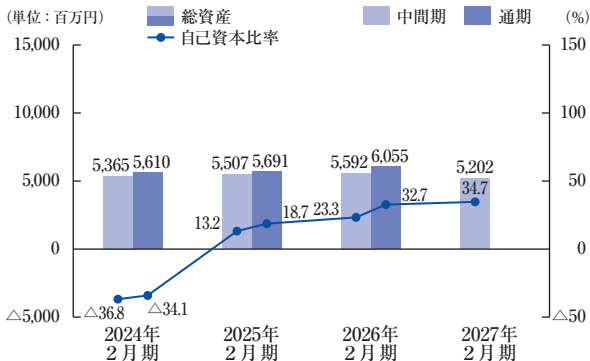
経常利益・経常利益率

(単位：百万円)



総資産・自己資本比率

(単位：百万円)



株式の状況

(2026年8月31日現在)

■発行可能株式総数	普通株式	97,800,000株
	A種種類株式	16,500,000株
	B種種類株式	500,000株

■発行済株式数の総数	普通株式	41,770,822株
	A種種類株式	16,222,700株
	B種種類株式	499,997株

■株 主 数	普通株式	19,817名
	A種種類株式	2名
	B種種類株式	4名

■大株主

株 主 名	持 株 数				持株比率
	普通株式	A種種類株式	B種種類株式	合計	
GPパイアウトP投資事業有限責任組合	5,065,900株	8,320,000株	0株	13,385,900株	22.92%
GP上場企業出資投資事業有限責任組合	4,857,400株	7,902,700株	0株	12,760,100株	21.85%
イオン株式会社	4,998,000株	0株	0株	4,998,000株	8.56%
株式会社エムツウ	2,500,000株	0株	0株	2,500,000株	4.28%
楽天証券株式会社 共有口	364,000株	0株	0株	364,000株	0.62%
タカキュー取引先持株会	283,618株	0株	0株	283,618株	0.48%
一般財団法人 高久国際奨学財団	250,000株	0株	0株	250,000株	0.42%
船津光司	174,500株	0株	0株	174,500株	0.29%
福山哲博	169,900株	0株	0株	169,900株	0.29%
高久眞佐子	165,569株	0株	0株	165,569株	0.28%

(注) 持株比率は自己株式(106,152株)を控除して計算しております。

店舗の状況

(2026年 8月31日現在)

会社の概況

(2026年 8月31日現在)

1. エリア別各業態店舗数

	北海道	東北	関東	中部	近畿	中国・ 四国	九州	総計
T/Q TAKAQ	6	12	26	15	15	3	6	83
MALE & Co.			4	7	1	1	3	16
m.f.editorial	1	2	3	6				12
GRAND-BACK			1		1			2
総 計	7	14	34	28	17	4	9	113

商 号 TAKAQ

株式会社 タカキュー

■本店所在地 〒173-0004 東京都板橋区板橋三丁目9番7号
TEL. (03)5248-4100(代)

■事業所 名古屋物流センター（愛知県名古屋市港区）

■事業内容 紳士服・婦人服及び関連洋品雑貨の販売

■設 立 1950年 6月30日

■資 本 金 100,000千円

■期末従業員数 269名
従業員数は就業人員で表示しております。

役 員

代表取締役社長 伊 藤 健 治

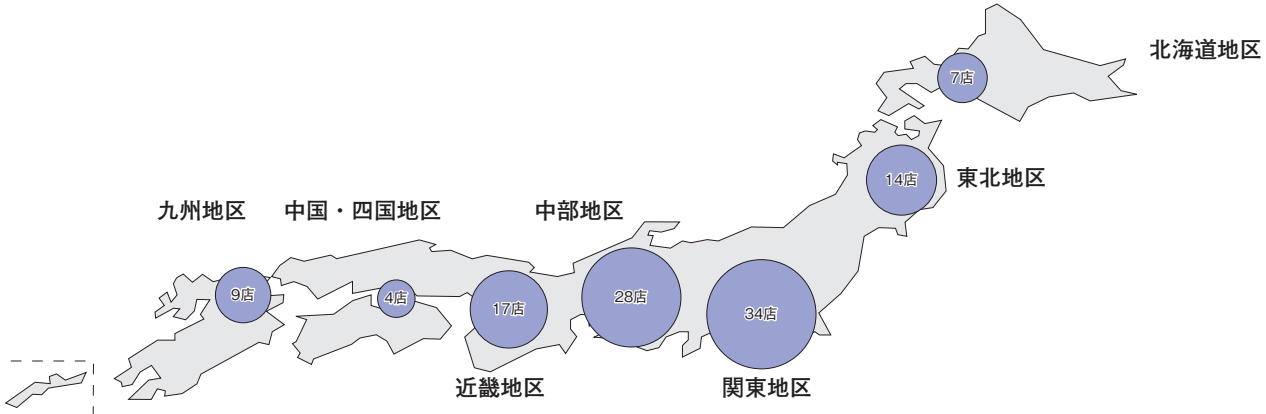
社外取締役 岸 本 雄 介

社外取締役 古 川 徳 厚

社外取締役 河 手 優 美

■子 会 社 ティエムエムサービス株式会社（衣料品のリフォーム）

2. エリア別出店マップ 計113店舗



●株主メモ

事業年度	毎年3月1日から翌年2月末日までの1年
定時株主総会	毎年5月
基準日	定時株主総会・期末配当については毎年2月末日 その他必要があるときは、あらかじめ公告する一定の日 なお、中間配当を行う場合の基準日は8月31日
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
電話照会先	電話 0120-782-031（フリーダイヤル） 取次事務は三井住友信託銀行株式会社の本店及び 全国各支店で行っております。
公告掲載方法	当社ホームページ (https://online.taka-q.jp) に電子公告として掲載いたします。

（お知らせ）

- ・住所変更、単元未満株式の買取・買増等のお申出先について
株主さまの口座のある証券会社にお申出ください。
なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主さまは、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。
 - ・未払配当金の支払いについて
株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。
 - ・「株主通信（中間報告）」について
毎年10月に発行しておりました中間の「株主通信」につきましては、第77期中間報告（2025年3月1日から2025年8月31日まで）より、資源節約・環境保護のため紙媒体での郵送を取り止め当社ホームページでの情報開示に替えさせていただくことといたしました。
なお、毎年5月に発行しております期末の「株主通信」につきましては、これまで同様、発行・郵送いたします。
株主の皆さまには、何卒ご理解を賜りますようお願い申し上げます。
-

TAKAQ